

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願ー

現在、東京女子医科大学東医療センター外科では、本学で保管している診療後の診療情報等を使って、下記の研究課題を実施しています。

この研究課題で利用する診療情報等の利用については、研究対象者の方の同意が得られていませんが、本学倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の研究内容の問い合わせ担当者までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名] 摂食・嚥下障害患者における経口摂取の可否に関わる因子の検討

[研究対象者] 2018年4月から2019年3月まで栄養サポートチームによる摂食嚥下障害^{※1}評価を受けられた方

※1 摂食嚥下障害とは、食物を認知し、口への取り込み、嚥下で、飲みこみやすい形をつくり飲みこむことが障害されている状態をいいます。

[利用している診療情報等の項目]

診療情報等：性別、年齢、診断名、入院日、NSTに依頼があった日、退院日、入院中の食種
摂食・嚥下リハビリテーション学会の定めた摂食嚥下障害評価表の評価結果；意識、意思表示、従命、食意欲、座位耐久性、頸部可動域、義歯、口腔衛生状態、開口量（口を開け、手のひらを縦方向にして指先から口に入れた指の幅）、口角下垂（口を閉じた状態で口角が下がっているか）、軟口蓋運動、咬合力（上下の歯で顎がしっかり支えられていることによる嚥む力）、挺舌（舌を出来るだけ前に出した時、下唇を超えるか）、随意的な咳、発語明瞭度、反復唾液嚥下テスト（RSST；30秒間に何回つばを飲み込めるかを数える）の評価結果、改訂水飲みテスト（MWST；3mlの冷水を飲みこんで誤嚥の有無を判定するテスト）の評価結果、フードテスト（FT；茶さじ1杯（約4g）のゼリーを食べて評価するテスト）の評価結果
等

[利用の目的]

当院の栄養サポートチームでは摂食・嚥下障害のある方が、経口摂取を開始する際には摂食嚥下障害評価表を用いた評価を行っています。今回、経口摂取可能であった方と経口摂取ができなかった方の違いを明らかにします。

（遺伝子解析研究：無）（営利企業との共同：無）

[利用期間] 倫理委員会承認後より2024年12月までの間（予定）

[この研究での診療情報等の取扱い]

本学倫理委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報等には匿名化処理を行い、ご協力者の方の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を講じたうえで取り扱っています。

[研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

研究責任者：東京女子医科大学 東京女子医科大学東医療センター外科 教授 塩澤俊一

研究内容の問い合わせ担当者：東京女子医科大学 東医療センター外科 佐川まさの

電話：03-3810-1111（内線）4155（応対可能時間：平日9時～16時）